



新津第二中学校

コミュニティ・スクール(CS)通信 No.3

令和6年1月19日発行

CS 事務員 藤村 靖子

～地域に開かれた学校から地域とともにある学校へ～

新潟市では、令和2年度にモデル校12校から「コミュニティ・スクール」をスタートさせ、令和4年度からは全小中学校で実施されています。新津第二中学校では、令和4年度からコミュニティ・スクール学校運営協議会が行われ、今年度2年目です。

第3回は、12月12日(火)に新津第二中学校区合同で行われました。荻川小学校の会議室を会場にして、新津第二中学校・荻川小学校・結小学校3校の学校運営協議会委員が参加して協議を行いました。

～今回の会議では～

1. 「新津第二中学校区 目指す子どもの姿」の確認
2. 中学校部活動の地域移行について
3. 荻川地区未来ビジョンづくり座談会について

4. 協議

テーマ…本中学校区のこれからの子どもたちの健全な成長、目指す子どもの姿の具現に向けて、「子どもたちの居場所」をつくることが重要となる。
「子どもたちの居場所」づくりに向けて、地域と学校は、何をしていくとよいのか(何ができるのか)。

～1. 「新津第二中学校区 目指す子どもの姿」の確認～

結小学校の北村校長よりお話がありました。令和2年度から小中一貫教育が順次進められ、令和6年度から全市で実施されることや、共通プログラムの確定・実施と9年間通じた教育課程を編成すること、新津第二中学校区では、「めあてに向かって協力してねばり強く取り組む子ども」を目指す子どもの姿とすることなど説明がありました。



～2. 中学校部活動の地域移行について～

新津第二中学校の貝塚校長よりお話がありました。令和5年度から3年間は、令和8年4月にスタートするための準備期間であること、文部科学省・新潟市が示す方向性や目指す姿について、新潟市の中学生を取り巻く状況・教職員の状況のお話があり、それを踏まえた地域移行での課題(活動費や活動場所)や懸念されること(生徒間・家庭間・地域間で格差が生じないかなど)も説明がありました。



～3. 荻川地区未来ビジョンづくり座談会について～

荻川小学校の平田校長よりお話がありました。10月から12月までに荻川コミュニティセンターで3回行われた荻川地区未来ビジョン座談会について、大人に混じって中学生・高校生・大学生も参加して荻川の未来像について話し合われたこと、特に中学生が自分たちの地域のことをよく考え立派な意見を堂々と述べていたことなどを、その時の動画を使って紹介がありました。



～4. テーマについての協議～

4グループに分かれて積極的な協議が行われ、グループごとに発表をしました。「子どもたちの居場所づくり」に向けてとのことから、未来ビジョン座談会(学校運営協議会委員も多く参加していたこともあり)で出た中学生・高校生・大学生の意見を参考に話し合っているグループも多く見られました。



《第3回 未来ビジョンづくり座談会について》

令和5年12月10日(日) 9:00～12:00 テーマ「未来に向けたアクションを考えよう」

～みんなで描いた未来の姿を実現するために、どんなことを行っていったらよいか」話し合う

最終回での座談会は、まず前回話し合った複数の取り組みアイデアを1～2つのプロジェクトに絞り込みました。次に、プロジェクト名称をつけて、「実行するための目的や概要」「協力してほしい人や団体」「実現から継続までの展開イメージ」など話し合いました。5グループに分かれての座談会でしたが、最後の発表でもユニークな名称のプロジェクトもあり、楽しい雰囲気の中行われました。新津第二中学校から参加した生徒たちも自分たちの意見を述べ、大人に負けず立派な発表をしていました。



次回、第4回学校運営協議会は、2月15日(木)の予定です。

お問い合わせ

TEL 0250-22-0741

新津第二中学校 教頭 澤田 栄三郎

